

対象年度	令和 6年度						総合計画実施計画策定及び行政評価シート			
事務事業名	イベント・大会開催事業						予算事業名	イベント・大会開催事業費		
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令		
			10	06	01	20	経常経費			
総合計画体系	未来を担う子どもと 生き生きした市民を育む地域を目指そう						事業の区分	主要事業		
	誰もが楽しめるスポーツ・レクリエーション活動の推進									
	スポーツ参画人口の増加と環境整備						担当課係等	スポーツ振興課		
事業期間	継続 (年度～ 年度)									
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】						【事業開始のきっかけや他市の状況など】				
各種イベントや大会を開催することにより、スポーツを「する・みる・ささえる」一員として様々な角度からスポーツへ参画する人口の増加を図る。						スポーツの振興・発展のため開催している。				
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】						【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】				
・結城市スポーツレクリエーション祭開催 ・結城シルクカップロードレース大会（実行委員会方式で運営しているため補助金を交付） ・北関東中学校野球大会開催 ※令和5年度まで主催していた中学校各種球技大会（バレーボール、ソフトテニス、卓球）の主催者を競技団体または小中体連とし、補助金を交付する。 （スポーツ活動支援事業へ移管）						・スポーツ競技者 ・スポーツボランティアや審判員 ・沿道応援や保護者などの観客 【事業をとりまく環境の変化】 様々な角度からのスポーツ振興が求められている。 市スポーツ推進計画のなかで、参加者数の増加を目標としており、そのための内容の充実及び運営方法について検討する必要がある。 また、部活動改革にあわせ大会のかたちを変革する。				
【令和 6年度 事業内容】			【令和 7年度 事業内容】			【令和 8年度 事業内容】				
結城市スポーツレクリエーション祭 結城シルクカップロードレース大会 北関東中学校野球大会 ※すべて市制施行70周年記念冠事業			結城市スポーツレクリエーション祭 結城シルクカップロードレース大会 北関東中学校野球大会			結城市スポーツレクリエーション祭 結城シルクカップロードレース大会 北関東中学校野球大会				

■事業費

		R04年度	R05年度			
財源内訳	国庫支出金	1,500	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他	174	152			
	一般財源	6,428	8,819			
歳入計（千円）		8,102	8,971			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	07 報償費	932	2,139			
	10 需用費	2,239	1,662			
	11 役務費	15	622			
	12 委託料	0	83			
	13 使用料及び賃借料	389	800			
	15 原材料費	14	65			
	17 備品購入費	913	0			
	18 負担金補助及び交付金	3,600	3,600			
備考						
備考	歳出計（千円）（A）	8,102	8,971			
	伸び率（％）		10.72			
備考	総合計画 104ページ 予算書 199ページ					

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	シルクカップロードレース大会実行委員会の開催	回	目標	4.00	5.00	5.00
			実績	5.00	0.00	0.00
	スポーツレクリエーション祭実行委員会の開催	回	目標	2.00	2.00	2.00
			実績	2.00	0.00	0.00
成果 指標	シルクカップロードレース大会参加者数	人	目標	3,800.00	2,000.00	2,500.00
			実績	1,282.00	0.00	0.00
	スポーツレクリエーション祭参加者数	人	目標	500.00	400.00	450.00
			実績	219.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民がスポーツに親しむきっかけとして必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	C 見直す必要がある	中学校各種球技大会の実施主体を見直す。
	手段の妥当性	C 見直す必要がある	実施主体と同様に手段も見直す。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	実施主体や手段を見直し効率化を図る。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	偏りがある大会は実施主体や手段を見直す。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	コロナ後初の開催を契機に成果向上を図る。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	引き続き前例にとらわれない改善を図る。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
各大会で参加者数の減少が見られたが、コロナ後初の開催を契機に、より良い事業とするため改善していく必要がある。 ・スポーツレクリエーション祭は、気軽にスポーツを楽しめるイベントとして、市民のスポーツ活動の入口として充実を図る。 ・シルクカップロードレース大会は、運営方法を見直し外部との連携強化や地域を活性化するイベントとしてさらに発展させる。 ・中学校各種球技大会の見直しを進めるとともに、北関東中学校野球大会についても部活動改革にあわせた検討を進める。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
単なる競技大会にとどまらず、様々な角度からスポーツに親しむきっかけや、スポーツを通じた地域活性化を目指して内容の改善・充実を図る。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 スポーツレクリエーション祭は、気軽にスポーツ体験をして、市民のスポーツ活動のきっかけづくりを担うものとして、拡充。 中学校各種球技大会は、中学校部活動の制限もあり、廃止の方向。
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり